

## 「情報公開文書」

### 研究課題名：

東日本大震災による災害ストレスとその後の生活環境変化が婦人科疾患に及ぼす影響の解析

### 研究責任者：

東北大学災害科学国際研究所 伊藤潔

#### 1. 研究の対象

2010年1月～2013年4月に宮城県で宮城県対がん協会管轄の婦人科がん検診を受けられた方（宮城県の婦人科がん検診データ（宮城県対がん協会）年10万X3年間：計30万検体（2010年、2011年、2012年：震災1年前、震災年、震災後1年）を対象としています。）

#### 2. 研究目的・方法

##### 目的

東日本大震災に伴うストレスとその後の生活環境の変化が、女性の内分泌動態の変化にどのような影響を与え、どのような症状を引き起こしているか、どのような婦人科疾患が増加しているかは不明です。そこで、被災地を含め、宮城県の婦人科がん検診データを問診票も含め解析し、震災前中後で女性の内分泌環境にどのような変化が起き、月経不順・不正性器出血など、どのような症状がみられているか、どのような婦人科腫瘍が発症しているか、発症率の傾向に変化があるかを調査・解析します。被災地での女性の震災前後での婦人科疾患罹患の動向と傾向を明らかとし、予防策を構築することで今後の住民の長期健康保持への指針策定に役立て、災害に強い新たながん検診システムのあり方を検討することを目的としています。

##### 方法

宮城県で婦人科がん検診を施行し、宮城県対がん協会に保管されている、平成22年1月から平成25年4月までの問診票を含む検診データを解析し、震災前中後でどのような症状や、どのような婦人科腫瘍が発症しているか、発症率の傾向に変化があるかを調査します。得られた解析結果を発表する際には、個人の氏名、イニシャルの情報が公表されることはなく、個人が特定されることはありません。

研究期間 2018年8月～2021年8月

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：問診票を含む検診データにある病歴、月経不順・不正出血などの症状 等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さま  
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで  
お申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学災害科学国際研究所・災害産婦人科学分野（産婦人科兼務）伊藤 潔（研究責任  
者）

980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

TEL:022-717-7254 (内線 3684)FAX:022-717-7258